

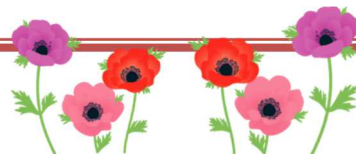
# あじさい

## 163号

### 模擬選挙が行われました

#### もくじ

- 模擬選挙
- きらり
- 育成会 ing
- 職員研修会開催
- 啓発事業この1年
- お知らせ



「障害者に投票しやすい環境づくり」を目指し、選挙管理委員会事務局や長崎市障害福祉課が参加し『障害者に配慮した模擬選挙』が行われました。長崎市中心身障害者団体連合会に属する 7 団体より視覚、聴覚、身体、精神、知的障害のある 8 名の協力者が模擬選挙に臨みました。当会からは深堀健介さん(さんらいず)、石川勝則さん(夢工房みどり)が事業所の支援者と参加されました。

(2,3 ページに関連記)

### 職員研修会が開催されました



コロナ禍でも途絶えることなく開催されてきた職員研修会が、今年も開催されました。参加者の多い全体研修会はオンラインで行われたものの、新任職員研修会は対面で行われ、今年にはインドネシア出身の特定技能生 6 名を含む 20 名が参加しました。

(p7に関連記事)

# 模擬選挙が行われました！

令和5年4月9日には長崎県議会議員一般選挙、4月23日には長崎市議会議員一般選挙及び長崎市長選挙が予定されています。昨年自閉症協会のお母さまの新聞投書に端を発し、令和4年度の福祉懇談会で当会を含む2団体で障害のある人の投票に関する要望を提出しました。その要望を受け、2月7日(火)にハートセンター1F軽スポーツ室にて、全国初となる選挙管理委員会事務局主催「障害者に配慮した模擬選挙」が実施されました。これは「障害者に投票しやすい環境づくりと投票制度の周知」と「代理投票における選挙人の意思表示の重要性の理解」を目的に行われ、長崎市心身障害者団体連合会に所属する各障害者団体より身体、聴覚、視覚、精神、知的などそれぞれの障害種別の方8名が協力し、模擬選挙を行いながら、気づきや要望を上げていきました。

当会からは会場のハートセンターに近い事業所ということでさんらいずの深堀健介さんと夢工房みどりの石川勝則さんが支援者とともに参加され、実際の選挙に見立てて投票をされました。



入り口で投票所入場券を提示し、投票用紙を受けとる石川さん

投票用紙に記入する深堀さん。介助者は背中を向けて少し離れた位置に立ってくださいという注意がありました。

実際の選挙会場に見立てたセンター内の部屋で投票が終わった後は、ご本人や各団体からの質疑応答があり、それぞれの障害に合わせた配慮についての気づきや要望が上がりました。

## 各団体から挙げた要望

- ・片手が不自由な人は記入時に手で紙を押さえることができない。以前文鎮を借りたことがあったが、全投票所に準備はあるのか？  
→文鎮は全会場に置いてある。また近頃は紙が滑らないようなシートも作られており一部の会場では準備がある。
- ・知的障害のある人にも分かりやすいような言葉での説明と名簿にはルビを振ってほしい。
- ・選挙の手順に従い動線が分かるよう窓口に番号または床に矢印を置いてほしい。
- ・タブレットで投票できるようにならないか？  
→地方選挙では認められているが、すべての選挙でできるわけではない。
- ・以前のようにハートセンターで1週間期日前投票できるようにしてほしい。



投票箱に投票用紙を入れる石川さん

→ココウォークも期日前投票所になっているのでそちらも利用して。4月の選挙ではハートセンター軽スポーツ室で2日間開場予定。

・手話通訳者の配置を。

→期日前投票所には配置しているが、当日の投票所には数が多く難しい。

・投票所に入るとき威圧的な雰囲気を感じる。安心感のある雰囲気作りを。

・記名が難しい人もいるので顔写真入りの投票用紙に○をつけるなど、簡単に投票できる方法を。

→公職選挙法で様々な決まりがあり、顔写真などは難しい。

障害種別が違ふと求めるものも違います。今回話を聞いてみて不便を感じるポイントが様々あることに気づかされました。投票所では誰に投票したか分からないよう秘密が守られなければならないという決まりがあり、家族や介助者が代わりに書くことはできませんが、障害などの理由から自分で投票用紙に書けない人は代理投票という方法があります。会場で代理投票を申し出ると係員2人が付き添い、一人が本人の指示する候補者名や政党名を書き、もう一人が指示通りに書いているか確認します。



また投票は原則投票日当日に行いますが、当日投票のほかに期日前投票、不在者投票もあります。

#### ●期日前投票

旅行や仕事、病気や障害などで当日いけない人は前日までに投票を済ませておくことができます。当日は投票区の投票所でしかできませんが、期日前投票の場合はどこでもできます。場所は選挙によって変わりますが、昨年7月の選挙では市内32か所（ハートセンター、ココウォーク、長崎大学、長崎みなとメディカルセンターなど）が期日前投票所として開所されました。

#### ●不在者投票

- ①滞在地で投票…投票用紙を取り寄せて、滞在地で投票することができます。
- ②病院などでの投票…県選挙管理委員会が指定した病院や老人ホームなどの施設に入院、入所している人はあらかじめ手続すれば施設内で投票できます。（長崎市内では30か所程度）
- ③郵便投票…身体障害者手帳を持っている人で、決められた障害の種類や程度に該当する人、介護保険の被保険者証の区分が「要介護5」の人は自宅で投票用紙に記入し郵送することができます。

今回福祉懇談会上がった選挙に関する要望が大きなきっかけとなり長崎市での1回目の模擬選が行われました。挨拶された選挙管理委員会の方は「いろんな障害の方たちが安心して投票に来られるよう相手の立場に立って理解を深めあえる機会にしたい。」と言われていました。全国には障害のある人が投票しやすくなるような取り組みをしている自治体もありますが、長崎市ではこの取り組みは始まったばかりです。今後、障害のある人たちが投票に行きやすい体制を整えてもらえるよう声を上げていきたいと思いました。また一方で、「知的障害のある人にとって投票の方法だけでなく、「誰に投票するのか、どの政党に投票するのか、そもそも選ぶのが無理…」という声も聞きます。ルビはもちろん、平易な言葉、短い文章など工夫して意見を発信してもらえばもっと選びやすくなるかもしれません。本人や家族に向けて「選挙に行ってみよう」という気持ちの啓発も大切だと感じました。



4月にはふたつの選挙があります。みなさんも投票に行ってみませんか？

## <育成会 ing> 長崎市障害者基幹相談支援センター開設

全号に掲載した年頭の理事長挨拶の中で「基幹相談支援センター」事業を育成会が引き受けることになったというお話を受け、『「基幹相談支援センター」とはどのようなものですか?』という質問の声が届きましたので理事長に伺いました。

この2月1日、長崎市と長崎市手をつなぐ育成会との「障害者基幹相談支援センター」委託契約が整いました。現在の福祉制度で肝となる相談事業の中でも、前々から懸案であった内容で、年度終わりとなりましたがまず1歩前進というところです。

この「基幹相談支援センター」については、長崎市手をつなぐ育成会が、単独で手を挙げて基幹相談事業を立ち上げるというのではなく、この事業に係わる4つの法人（市内にある委託相談支援事業を委託されている法人）が運営協議会を組織し、協力して仕事を進めるということで、その中で育成会が音頭を取って会を進めていくことになりました。今後どういう形態で業務を進めたいのか、長崎市からの様々なご提案をもとに協議を重ねてきました。その後、他の法人さんとも協力体制が整い、協定を結ぶことができ、充実した活動内容にしていきたいものだと意を新たにしているところです。

基幹相談支援センターとは、いわゆる一般的な相談支援事業所とは違い、利用者の直接的な相談を受ける場所ではありません。地域の相談支援の拠点として指導的立場で、一般相談事業所の相談支援専門員からの相談にのったり、一般相談事業所の人材育成のための研修会開催や各相談事業所の課題や問題点を探り改善に努め、また、実際の困難事例に対して、内容検討をし直接指導に当たったりします。利用者の緊急時の対応の体制を整えることなども喫緊の課題としています。

現在は4つ法人の職員が集まり、活動を始めていますが、なにせ2月にスタートしたばかりで専属の職員も雇用が出来ていません。しかし、四つの委託相談支援事業所と長崎市からの担当職員さんで、最初の礎を構築するべく懸命な努力が重ねられています。実際は今が準備段階的な活動内容ですが、焦らずしっかりと連携して長崎市の地域福祉が安心できる発展的なものとなるよう、しっかり頑張っていきます。

最後に、地域福祉が整っていくことで、育成会が目指す共生社会（インクルージョン社会）がより身近なものとなっていくように感じています。親ひとりの力には限りありますが、福祉の制度が整い、それに伴い障害理解啓発活動により社会が変わるよう、共に頑張っていきたいと思います。

## GH 六じぞうが GH 青山になりました

平成14年に開所したグループホーム（以下 GH）六じぞうですが、長崎市より構造上の問題で改善を求められたこともあり、移転先を探していました。そしてこの度青山町に転居が決まり、定員6名の GH 青山としてスタートしました。現在は GH 六じぞうより転居した5名の方が生活されており、職員体制が整うまでは入居者の募集は停止されているそうです。





# 卒業おめでとう！

春は旅立ちの時期です。ご本人にとって、友だちや先生と離れる寂しさと新しいステップを踏み出す喜びと緊張、様々な感情が生まれる時期ですね。今回はこの春、長崎大学教育学部附属特別支援学校高等部を卒業された戸枝栞大さんと森内陽人さんのコメントとご家族からのメッセージをご紹介します。

## とえだかんだ 戸枝栞大さん

戸枝栞大さんは、卒業後ハートセンター1階の事業所「あ  
いるびい」に通所されるそうです。



卒業してお友だちや先生に会えないのは淋  
しいけど、4月からお仕事がんばります。

たくさんの人に支えられ楽しい学校生活を送るこ  
とができました。

4月から新しい一歩を踏み出しますが、感謝の気持  
ちを忘れずに笑顔で過ごしてほしいと思います。

母より



## もりうちはると 森内陽人さん



3月に高等部を卒業しました。これからはいろ  
んな世界を見て、いろんなことを体験したいで  
す。そしてたくさんの友だちを作りたいです。

18歳になりました。これまで息子を支えてくださ  
った多くの方々に感謝します。ありがとうございます。  
息子といるとなんだか楽しくて、家族がみ  
んな笑顔になります。これからもそのユーモアセ  
ンスを活かして、まわりの人たちを笑顔ワールド  
に連れて行ってください。

母より

# 職員研修会が開催されました

育成会では職員を対象に課長会が主催し毎年研修会が開催されています。全職員を対象にした「育成会職員全体研修会」と1年未満の職員を対象にした「育成会新任職員研修会」が今年も開催されました。

## 育成会職員全体研修会

令和5年2月11日(土)に各事業所など8か所をオンラインで繋いで第20回職員全体研修会が開催されました。今回は『働きやすい職場作り～OJTと報連相～』と題し、長崎産業保健センター総合支援センター「おふいすどい」臨床心理士の土居隆子氏にお話をお聞きしました。働きやすい職場作りに必要なこと、知っておきたい世代間のギャップ、OJT（業務に必要な知識や技術を実践しながら伝えること）のスキルや報連相（報告・連絡・相談）の必要性など幅広くお話いただきました。中でも特に大事だと言われていたのは組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態であるという「心理的安全性」でした。これは職場だけでなく家庭内でも障害のある人本人にも同様なことが言えると思いました。毎年専門家の方にいろいろな話をお聞きしますが、今回も中身の濃い内容を分かりやすくお話いただきました。また寺田局長からは「第5次5か年計画」の全体像について、各担当からはこれまで取り組んだ研修会報告、ハラスメントに関するアンケートの報告がありました。



## 育成会新任職員研修会

令和4年度の新任職員研修会が3月21日(火)に開催されました。理事長をはじめ事務局長、各事業所の施設長、課長そして、令和4年度に長崎市手をつなぐ育成会に入職された20人の新任職員の皆さんが参加されました。特に今年は6人のインドネシアから来られた特定技能生の方々も参加されいつもにもまして国際色豊かな新任職員研修会となりました。まず、理事長挨拶から始まり管理者、支援課長、新任職員の紹介の後、理事長が長崎市手をつなぐ育成会の沿革と現在の事業内容を説明されました。その後、知的障害のある人や障害特性の理解啓発活動を行っている「長崎よかよか隊」による疑似体験研修会がありました。今回はインドネシアから来られた職員さんもいらっしゃるということで、資料もインドネシア語で翻訳されたものを準備し、研修にも時折英語やインドネシア語も交えた内容でした。日本に来られて3か月のインドネシアの方も時折うなずきながら参加されていました。最後は夢工房みどりの江口施設長が育成会行動規範の説明をされ、令和4年度の新任職員研修会を終了しました。



# 啓発活動この1年

啓発事業部では会員向け、本人向けの活動を企画・運営しています。令和4年度もたくさんの方にご参加いただきました。まだ参加したことがない方は令和5年度にぜひ一度お試しください。



## スマイルくらぶ



スマイルくらぶは第2、4土曜日、毎週日曜日、祝日に実施している本人向け余暇活動です。育成会会員であればどなたでも参加できます。令和4年度はのべ1030人が参加してくれました。この広報紙の8ページ「お知らせ」に毎回活動内容を掲載しております。

会員定例会は会員同士の親睦や研修、情報提供を目的に毎月平日の午前中2時間実施しています。今年度は「理事長を囲んで」「わが子の後見人になったお母さんの話」「市民後見人についての話」「知的障害者と認知症についての話」などを取り上げました。



## 会員定例会



## ながさき生活サポート 協会主催 MLAP



## 映画上映

バスハイクや研修会などの企画もしています。昨年は「音を楽しもう」というイベント、総会では「僕とオトウト」という映画の上映を実施しました。バスハイクは佐賀方面へ行きました。

本人部会 FICS は年8回のペースで日曜日を実施しています。年間計画で自分たちが決めたテーマに沿って自分たちの気持ちや考えを話したり、ハイキングやクリスマス会などの親睦を深める活動もしています。



## 本人部会 FICS



## 長崎よかよか隊

知的障害や発達障害の理解啓発をしている「長崎よかよか隊」は今年度21回の出動要請をいただきました。この数年コロナ禍で停滞気味だった活動も今年度は一気に増えました。

# おしらせ



**フラワーアレンジメント・書道**  
 フラワーは第2、第4土曜日の10:30、書道は第4土曜日の13:00から実施中です！  
 フラワーは1回1400円、書道は1回500円です。

**4月の定例会**  
 日時：4月20日(木) 10:00～12:00  
 生活支援センター会議室(大橋) 内容：「どうやって決めてる？わが子のこと」  
 休日の過ごし方や外食のメニュー、買い物など日々の様々な本人の選択をどうやって決めてますか？  
 定例会へのお申し込み、お問い合わせは啓発事務局 TEL845-5677 まで

## 4、5月の本人活動「スマイルくらぶ」の予定

- 4/2(日)「稲佐山」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費
- 4/8(土)「フラワー&ゲーム」  
9:30～14:30,参加費 600円+実費  
※フラワーのみ 10:30～11:30、参加費 1400円
- 4/9(日)「風船パレー」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費
- 4/16(日)「リラクゼーション・ダンス」  
13:00～15:00,参加費 300円+実費
- 4/23(日)「嬉野散策①」  
9:30～15:30,参加費 600円+実費
- 4/30(日)「焼き肉丼&スープ」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費

- 5/3(水)「皿うどん作り」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費
- 5/5(金)「ポッチャを楽しもう」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費
- 5/7(日)「映画」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費
- 5/13(土)「フラワーアレンジメント教室」  
10:30～11:30、参加費 1400円
- 5/14(日)「母の日スコーン&カード作り」  
9:30～14:30,参加費 500円+実費
- 5/21(日)「バドミントン」  
13:00～15:00,参加費 300円+実費
- 5/27(土)「フラワーアレンジメント&書道」  
9:30～14:30,参加費 800円+実費  
※フラワーのみ 10:30～11:30、参加費 1400円  
※書道のみ 13:00～14:30,参加費 500円
- 5/28(日)「嬉野散策②」  
9:30～15:30,参加費ひとり 600円+実費

★各活動には定員があります。お申し込み、お問い合わせは啓発事務局まで

☎ 095-845-5677

メール登録いただければ定期的にご案内をお送りします。お申し込みや確認も便利です。

timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp